

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましよう。
 2 段落の初めは、必ず一字下げで書き始め、段落ごとに行を変えましよう。

() 月 日 曜日

千尋の滝

宮浦小 六年 山田島 風美

雨上りだろうか。

「ゴー、ゴー」。

と一つの滝が大きな水しぶきをあげて流れて
 いた。私はその大きな千尋の滝にあっとう
 された。屋久島にはまだいろんな滝がある。
 だけど、やはり一番迫力があるのは千尋の滝
 だと思ふ。島に降る多量の雨はいく筋もの川
 となり、硬い岩をも削る。そのモツチヨム岳

の巨大な花こう岩の岩盤を鯛え川がきざみ、
 壮大なV字谷の景観とともに千尋の滝という
 滝を生み出している。そんな千尋の滝を何数
 年、何十年この屋久島に残すという思いにな
 るとなんだがうれしくなってきた。千尋の滝
 は千人手をのばしたぐらいの大きな花こう岩
 で囲まれている。そのため、いつもいくたび
 にいろんな千尋の滝の表情が見られる。晴れ
 た日は、笑ったような一本の滝、大雨が何日
 も続いた日は、泣いているような、いくっか

No.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましよう。
 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましよう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

の滝が流れている。そういう所も千尋の滝の
 魅かだと思う。大川の滝とちがって、近くで
 間近に見たり、滝の水しぶきにかかると、た
 きないが、遠くから見ると千尋の滝も、ゆた
 りと見ることができ、千尋の滝も自然と情緒
 に感じられる千尋の滝もいいと思う。そんな
 千尋の滝や、他のいろんな滝をこれからも、
 あたたくが見守っていていきたいと思う。
 また、これからも千尋の滝に多くの観光客や
 地元の人に来てもらって、ゆたたりとした気
 分で千尋の滝のいろんな表情を味わってほし
 いと思う。

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。

4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

